2026 年 4 月　ver.1

研究課題名	がん悪液質に対するアナモレリンの効果予測因子の検討
研究の意義・目的	がん悪液質は、がんによる新陳代謝の異常によって体重減少や筋肉量の減少、倦怠感などを引き起こす症候群です。単なる栄養不足とは異なり、がん細胞から放出される炎症性物質などの影響で、食欲不振やエネルギーの過剰消費、筋肉の分解が進行します。がん悪液質は、抗がん剤治療の効果を低下させるほか、生活の質（QOL）の悪化や、著しい体重減少を伴う場合には生命予後を悪化させることが報告されています。そのため、早期発見と治療が重要とされています。近年、このがん悪液質に対する治療薬としてアナモレリン（商品名：エドルミズ）が登場し、臨床で使用されるようになりました。しかし、アナモレリンは高血糖や心電図異常などの副作用がある一方で、十分な効果が得られない患者さんも一定数存在します。 本研究では、アナモレリンの治療効果を予測できる因子（予測因子）を明らかにすることを目的としています。これにより、効果を見込める患者さんを事前に推定し、アナモレリン内服開始の根拠とする可能性があります。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～　2030 年 12 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2021 年 5 月～2024 年 9 月に大阪公立大学医学部附属病院(旧：大阪市立大学医学部附属病院)で、膵がん、非小細胞肺がん、胃がん、大腸がんにおけるがん悪液質患者としてアナモレリン（商品名：エドルミズ）が開始された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ・患者基本情報：診察記録、病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、抗がん剤治療歴、併用薬、アナモレリンの内服中止理由、有害事象、生存期間、使用レジメン等 ・身体所見：身長、体重 ・血液検査結果：白血球数、 好中球数、リンパ球数、単球数、Hb、PLT、AST 、ALT 、T-bil、血清クレアチニン、eGFR、Alb、CRP、HbA1c ・画像検査結果：CT 画像 ・生理検査：心機能検査
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院薬剤部のみで行います。 【研究責任者】石神　友介
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。

	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院　薬剤部　石神　友介 電話番号：06-6645-2277